

11月 通常会議

11月25日(月) ▶ 12月20日(金) **26日間**

上程された全28議案について可決・同意

11月25日、11月通常会議を開会し、12月20日までの26日間、補正予算や条例の改正などを審議しました。

質疑・一般質問では23人の議員が登場。これまで議会として実施してきた各種団体との意見交換会などにより得られた知見に基づいた質問が行われるなど、議会全体としての機能向上の取り組みが、一般質問にも生かされました。

また、1月24日で任期を満了し、出席する通常会議が今回で最後となった越市長は、本会議において、これまで8年間の市政運営を振り返り、議会や市民に対する感謝の言葉を述べました。

提出議案を慎重に審議

全議案を可決・同意

本通常会議では、一般会計補正予算や条例の改正、指定管理者の指定など27議案が市長から提出されました。このほか、議員提案により「市議会議員の議員報酬等及び非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正」案を提出。計28議案について審議しました。

また、請願については、付託を受けた公共施設対策特別委員会において請願者からの趣旨説明と質疑を行った上で審議しました。

最終日は3人の議員が一般会計補正予算に対する討論を行い、いじめ事案のAIによる分析と予測にかかる経費について、企

業との包括協定が後の契約行為に与える影響に対する問題提起や、AIの分析結果に頼りすぎず、いじめ対応を正しく見立てることができるよう学校現場の教職員が学び合うことの重要性などについて意見を述べました。

採決の結果、全ての議案と4件の意見書について可決・同意しました。

23人が質疑・一般質問

活発な議論を展開

質疑・一般質問では、災害時における地域の危険度予測の必要性や地域による避難所運営にかかる課題といった災害対応力の向上についての質問が多くありました。また、令和2年8月に閉店することがわかった西武

大津店の跡地についてや膳所駅前広場の整備、消防署や市民センターなどの公共施設やキッズゾーンを含むインフラ整備についてなど、まちづくり全般に関する質問もあり、市当局と活発な議論を展開しました。

本会議は議場またはインターネットでご覧いただけます

本会議は、どなたでも自由に傍聴することができます。

また、インターネットによるライブ中継と録画配信を行っており、パソコンはもちろんスマートフォンやタブレットからも視聴できます。ぜひ、ご覧ください。



常任委員会

常任委員会では、議案審査のほか、住民本位の政策実現を目指した所管事務調査を積極的に実施しています。本通常会議では、次のテーマについて所管事務調査を実施しました。

総務常任委員会

第2期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)の策定

第1期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和元年度が最終年度であることから、現在策定中の新たな戦略の素案について説明を受けました。委員からは「企業誘致などで雇用を創出すべき」「施策充実には、部局横断的な取り組みが必要」などの意見が出ました。

生活産業常任委員会

いじめ防止行動計画中間見直し

本計画は計画期間の中間年度に見直すとしており、委員会では、制度改正やアンケート調査結果、AIやLINEを活用した取り組みなどを反映した見直し内容を調査しました。委員からは、AIなどの活用を一定評価しつつ、教職員の現場での取り組みや、保護者との協力を求める意見などが出ました。

教育厚生常任委員会

自殺対策計画の策定

自殺を防ぐための施策を総合的、効果的に推進するために策定を進めている本計画について調査しました。委員からは、実効性をより高めるために「さまざまな悩みに対応できる相談体制の構築」「関係機関などとの連携」「相談を受け支援につなげる人材の育成」を求める意見などが出ました。

施設常任委員会

自動運転実用化の取り組み状況

市は、超高齢社会における新たな移動手段および観光客の二次交通確保を目的とした自動運転の実用化に向け、実証実験などの取り組みを進めています。委員からは「短期的・長期的双方の視点に立った取り組みが必要」「今ある公共交通を維持・充実させる施策も並行して進めるべき」などの意見が出ました。

※二次交通 拠点となる鉄道駅から観光地までの交通のこと